2025年6月30日　社会福祉法人　創樹会

児童福祉業界セミナーの開催報告。

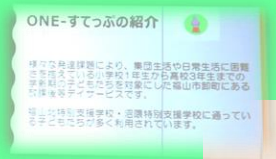
放課後等デイサービスとは、

支援の必要性がある障がいのある子を対象に、学校や家庭以外の場で個々の状況に応じた発達支援を提供し、健全な育成を図る児童福祉法に基づく通所事業。

《目標》
- 生きる力の育成と子どもの育ちの充実
- 家族への支援を通じた子どもの暮らしや育ちの安定
- 子どもと地域のつながりの実現
- 地域で安心して暮らすことができる基盤づくりの推進

《5領域》
①健康・生活
②運動・感覚
③認知・行動
④言語・コミュニケーション
⑤人間関係・社会性

《職員の仕事》
- 直接支援
  （活動、学習、着替え・整容、トイレ、食事、送迎　など）
- 間接支援
  （記録、準備、連携、計画、環境、家族、研修　など）



- 身体能力、生活スキル、コミュニケーションスキルなどを育む場所です。
- 社会性を身につけて行きます。
  対応力の向上、地域での社会生活に向けた支援を行います。

福山市内に
放課後等デイサービスは
約180事業所があり、
4/1現在：総量規制中。

資格：基本

- 保育士
- 児童指導員
- 教員免許
（普通自動車）

資格：加算

（児童加算）
- 児童指導員
- 手話通訳士
- 手話通訳者

※強度行動
障害支援者養成研修（基礎：2日間の研修）

（専門加算）
- 心理士
- 理学療法士
- 作業療法士
- 言語聴覚士

（他の加算）
- 社会福祉士
- 介護福祉士
- 看護師

福山市内に
児童発達支援事業所は
約70事業所があり、
4/1現在：総量規制中。

児童発達支援事業とは、

単に運動機能や検査上に表される知的能力にとどまらず、「育つ上での自信や意欲」「発語だけに限定されないコミュニケーション能力の向上」「自己選択、自己決定」なども踏まえながら、子どものできること、得意なことに注目し、それを伸ばす支援を行うこと。

《支援の3本柱》
①本人支援
②家族支援
③地域支援・連携
※移行支援

《5領域》
①健康・生活
②運動・感覚
③認知・行動
④言語・コミュニケーション
⑤人間関係・社会性

『児発』も『放デイ』も支援の土台は同じ。

《職員の仕事》
〇遊び、活動、生活の支援（直接支援）
〇活動の準備（製作、活動の構成）
〇送迎業務、支援の記録
〇個別支援計画、事後評価（モニタリング）の作成
〇保護者への対応（定期の懇談、不定期の相談）
〇保育所や関係機関との連携・・・など

『保育』と『療育』の違い

保育
- 0歳児　：3人
- 1、2歳児　：6人
- 3歳児　：15人
- 4、5歳児　：25人

療育
- 1～10人　：2人以上
- 11～20人　：3人以上
- 児童発達支援管理責任者：1人
- 児童指導員等加配　：1人
- 専門的支援体制　：1人

一人でする仕事もあるが、みんなでする仕事

求職者の声

- 児童福祉の内容について、とても分かり易く知ることができました。
- 実際の現場での話しを聞くことができて良かったです。
- 仕事の内容や支援など知らないことを知れて良かったです。
- 整った環境で一つ一つ丁寧に説明を受けました。
- スタッフの方の仕事の内容や実際の活動内容を知ることができた。
- 実務経験が無いので、どのような支援をしているか参考になった。
- 放デイと児童発達の違いがよくわかりました。
- 過去に児童福祉業界3カ所勤務したが、放デイや児童発達支援とは？という基本的なことも、よくわからないまま勤務していたので、詳しく知れてよかった。さらに創樹会さんの2施設の内容を詳細に知れてよかった。

他にもたくさんのコメントを頂きありがとうございました。